

マザーランド・アカデミー・インターナショナルからのメッセージ アジア・アフリカ支援米、国際協力田運動取組関係団体の皆さまへ

100年か200年に一度といわれる新型コロナウイルスが蔓延し、不安と緊張が続く中、予想不可能なことが次から次へと起こり、これを一つ一つ越え、今年もアジア・アフリカ支援米、国際協力田運動を企画・実施されました。

この活動を継続されております関係団体の皆様、農業者の皆様、幼稚園・保育園・小学校の皆様、それぞれのご家族の皆様、事務局の皆様、ご協力くださいました全ての方々に対し、改めて深く敬意を表します。

本日、お預かりするアジア・アフリカ支援米、国際協力田支援米、計6,295kgは2月9日にコンテナ積みされ、2月19日に東京港を出港します。皆様とともに築きました2万kmの『命の道』を通り、一路サハラ砂漠南端で待つマリの子供たちの元へ届けられます。砂の地平線にお米を満載したトラックが現れるのを、毎日待っている子供たちの元へ届けられます。

マリは先進国の注目から外れた歴史があまりにも長く、今年も世界で最も苛酷な生活状況下にあると国連が発表しています。

皆様からの支援米で元気を取り戻したマリの子供たちは、砂地でも、燃えるような大地でも、常に少しでも水があれば“緑の芽”が育つように、子供たちの心に明らかに“緑の革命”の芽が芽生え始めています。

『緑』とは、一般的にいわれています『食糧増産』のことだけではなく、『すべての子供たちは、食糧を等しく得る権利があり、同時に等しく分ける義務がある』ことを身をもって体験する“子供たちによる、子供たちの教育革命”を意味します。

緊急の食糧支援の役割とともに、皆様からの支援米が、この教育革命に大切な役割を果たしていますことは明らかです。

この事業はほかに例がなく、世界でたった一つの事業です。

皆様からの支援米は、その一粒一粒が強い意志を持って活動しているかのように、現地変え、子供たちを変えてくれています。

私たちは、これからも長野県の皆様から力をいただき、心を尽くして活動させていただきます。

2021年1月26日

マザーランド・アカデミー・インターナショナル
(命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会)